

科目名	文学国語			学年	類型・コース	単位数
				3年	全員履修・普通	2単位
学習の目標	様々な文学的な文章に触れて、生涯にわたる社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。					
教科書 副教材	主たる教材：「高等学校標準文学国語」（第一学習社） 副教材：「現代語練習帳ことのは」（いっずな書房）「明鏡国語辞典」（大修館書店）					
評 価	評価法	課題考査・定期考査・小テスト・各種課題・ノート等で評価します。				
	評価観点の趣旨	a	知識・技能	社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けているとともに、我が国の言語文化に対する理解を深める。		
		b	思考・判断・表現	「読むこと」「書くこと」の領域において豊かに想像する力を伸ばし、他者との関わりの中で伝え合う力を高める。		
		c	主体的に学習に取り組む態度	言葉を通して積極的に他者や社会に関わり、ものの見方、感じ方、考え方を深めながら、言葉の持つ価値への認識を持つようとしている。		
	上に示す観点に基づいて、各観点で評価し、学期末に観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～10の10段階）にまとめます。学年末には観点別学習状況の評価（A、B、Cの3段階）および評点（1～5の5段階）にまとめます。					

期	月	時 数	学習項目・単元	学習内容	評価方法		
					a	b	c
1 学 期	4 月	6	志賀直哉「清兵衛と瓢箪」 小説を読み、ものの価値 について考えを深める。	主人公と大人たちの瓢箪に対する考え方の違いを通し て、価値判断や評価について考えを深める。【読むこと】	課題 考査 定期 考査 小テ スト	課題 考査 定期 考査 課題	ノート 課題
	5 月	8					
	6 月	8	茨木のり子「わたしが一 番きれいだったとき」 谷川俊太郎「死んだ男の 残したものは」 詩に託された作者心情を 読み取る。	詩の構成の意図を考え、「わたし」の心情をつかみ、詩 の心情を理解する。【読むこと】 ベトナムの平和を願う反戦詩として書かれた背景を踏 まえながら、作品に託された筆者の思いを読み取る。【読 むこと】			
	7 月	4					
夏休み				1学期の内容をもとに課題			
2 学 期	9 月	8	中島敦「山月記」 表現の特徴を学び、小説 を読み味わう。ものの見 方、考え方を深め、作品 の主題を捉える。	作品の解釈を踏まえて、人間に対する物の見方、感じ方、 考え方を深める姿勢を養う。【読むこと】 人が虎になるという怪異の意味や『人虎伝』との違いを ふまえて作品の主題を考える。【書くこと】	課題 考査 定期 考査 小テ スト	課題 考査 定期 考査 課題	ノート 課題
	10 月	8					
	11 月	8	宮沢賢治「永訣の朝」 詩の表現に注意しながら、 心情を読み味わう。	詩の中の自然の描かれ方に注目し、「いもうと」と「わ たくし」それぞれの心情を想像しながら味わう。【読む こと】			
	12 月	4					
冬休み				2学期の内容をもとに課題			
学 期	1 月	6	山田詠美「ひよこの眼」 表現に注意しながら、心 情の変化を捉える。	作品中の表現に注意しながら、登場人物の人物像をつか み、「私」の心情の変化を把握する。【読むこと】	学年末 考査 小テ スト	学年末 考査 課題	ノート 課題
	2 月						
	3 月						

担当者からのメッセージ（学習方法など）
毎時間授業の始めに漢字の小テストを実施します。忘れ物や課題の提出状況は、評価に大きく影響します。積極的な授業への参加を期待します。